

# 和歌山公論

## 2012 501号

発行所 和歌山公論社

〒640-8302 和歌山市井辺440-14

〒640-8145 和歌山市十番町4番地

和歌山中央郵便局私書箱13号  
購読料 年12,000円

政治は私たちの身近なものです。政治を私たち自身のものであるため、政治の腐敗を監視しようではありませんか。



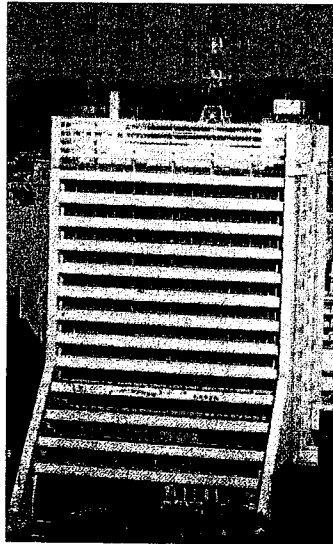
### 戸田正人議員

あの人は今こうしている

議員の場合は一年生議員でも「先生」と呼ばれると嬉しくて舞い上がっている。どの役所の幹部も議員の心算は心得ているので、「先生ご指摘の点は全くその通りでございます。今後は十分に気を付けてまいります」と思っています。今後とも御指導よろしくお願ひします」とわざとバカ丁寧に深々と頭を下げると世の中でもっとも偉くなつたと錯覚するようである。

また、職員より偉いと錯覚しているのか行政の些細なことでも職員に怒鳴りまくる議員もいる。なんでこんなバカバカしい議員を選んで4年間も税金で給料を払って食わせてやる必要があるんだ。入ってきた時、S氏が「ちょつとすみません」と手をあげて「どちらさんですか」と尋ねると「市議の戸田や、車のナンバーと顔くらいおぼえておけ……管材を呼べ」といって地下一階にある運転手の控室に行く、S氏も一緒に控室に行く、戸田議員は所管の管材課に電話をする、その間、S氏は立ちまま待つ、戸田議員は控室の長イスにふんどり返っている。

数分後、「すみません、すみません」といながら管材課の川嶋課長当時と野野企画員(当時)が入ってきたのでS氏は戸田議員に「気がつかないですか」と頭をさげ控室を出る。



S氏は今もこの件でトラウマになっているようだ。去年の四月の市議選ではS氏の嫁の実家(和歌山市加納)に戸田議員がおばあさんを連れ「一票でも結構ですからよろしくお願ひします」と深々と頭をさげ投票のお願ひにきたので、同じ加納だからと戸田議員に投票。後日、この件の話をしたら、親類の人も激怒、それ以後、S氏と親類の人は戸田議員には不信感をいだいている。世間は狭い。

去年の6月、市役所の地下駐車場で働く高齢の警備員S氏(以下S氏)が戸田正人市会議員(以下戸田議員)に怒鳴りつけられるという件があった。取材をもとに再現すると、去年の6月、戸田議員が乗った車が地下一階の駐車場に

世の中は100年に一度の大不況だというのに、当時、流行の「渡り」を重ね、リストラ、貸金カッターが吹き荒れるご時世に、ナントいい身分の人がいる。元県出納長の大平勝之氏である。

県の出納長を最後に、県保証協会理事長に就任、そして現在、(株)紀陽ホールディングスの非常勤監査役におさまっている。これこそ見事な「渡り」である。なんと年1000万円の高給を得ているらしい。

時の権力者には巧みに寄り添い、栄達を重ねた「渡り鳥」こと大平勝之氏。県立大成高校を卒業して県庁に入り、当時の和歌山大学経済短期大学を卒業した苦勞人でもある。

人間の運命は、ある時期を境に大きく人生を変える事になる。それは当時の西口勇出納長の知遇を得てトントン拍手の出世街道まっしぐら。西口氏が知事選に出馬するとターデイな金集めを担当し選挙資金集めに奔走する。完全に法を犯した公務員の行為であった。

業者丸抱えの選挙だっただけに、当選後は選挙資金の協力業者には見返りに公共事業でお返し、いわゆる官制談合である。官制談合の指令者は高瀬副知事と大平公室長であった。二人には官・業のキナ臭いウワサは絶えなかった。

## 羽ばたけ和歌山・元気いっぱい

KIWALITE

再帰反射シート製造  
染料・顔料・樹脂 キワライト

**KWP**

紀和化学工業株式会社

代表取締役 江藤 昇

本社 和歌山市南田辺丁33  
TEL(073)423-3211  
FAX(073)425-9338

人と暮らしの快適な調和をめざして

**丸山組**

株式会社

〒642-0035 和歌山県海南市冷水325番地の10  
TEL (073) 482-5425(代)

■支店/和歌山 ■営業所/大阪

**紀陽銀行**

冬はフグ 夏はハモの鍋料理

**紀陽**

〒640-8383 和歌山市如屋敷葛屋丁20  
電話 073-431-2980  
FAX 073-428-3268